地方創生支援
財　政

財務状況分析結果の提供・アドバイスをきっかけとした地方公共団体との連携促進

東海財務局及び
静岡財務事務所

◆ 東海財務局及び財務事務所では、日頃から地方公共団体の財務状況を分析、結果の提供により、アドバイス・コンサルティング機能を発揮。

◆ こうしたなか、愛知県設楽町や静岡県西伊豆町の両町長から財務分析へ高い評価があり、当局・静岡財務事務所職員がそれぞれ両町の財務状況に関する職員向け講演会等を開催。

1. 成果事例の概要等

静岡財務事務所

○ 伊豆半島の西部に位置し、人口減少と高齢化の課題に直面する西伊豆町に財務状況の分析結果を交付したところ、**町長から**、「町の将来の課題解決に向けて議論している『**西伊豆町の将来を考える会（以下「PT」）』に参加**し、町の財政の現状と将来の課題を解説するとともに、**若手同志で当町の地方創生を議論して欲しい**」との提案を受けた。

○ 町長の依頼を受け、PTに当所の若手職員2名が参加し、町の財政状況の説明、町の課題等の意見交換会を実施した。

東海財務局

○ 今後、財政状況の悪化が懸念され、過疎化の進行抑制のため地域活性化に取り組んでいく必要のある設楽町に財務状況の分析結果を交付したところ、**町長から、「財務局から見た当町の財政状況を職員に是非認識させて欲しい**」との提案を受けた。

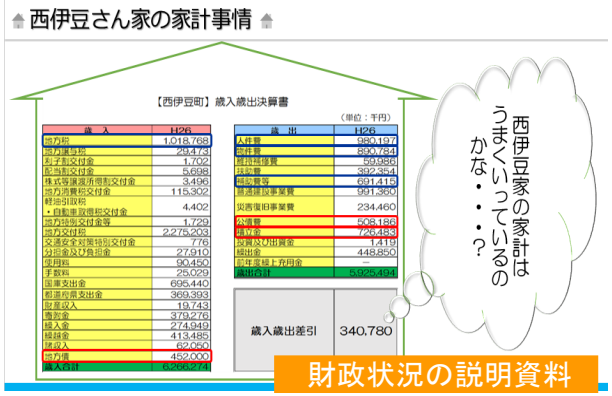
○ 当局の若手職員2名を講師として、町の財政状況の説明、町の課題や今後の取り組むべき方向等について、役場職員全員を半分に分け、2回の講演会を実施した。

2. これまでの取組の成果等

静岡財務事務所

○ 財務状況の分析結果を**分かりやすく説明した資料を作成**・丁寧に解説。

○ PTの意見交換会では、**当所より、ふるさと納税のお礼状に加え、現在PTで検討している町の活性化に取り組む若手職員の活動を紹介し、町のファンを増やせるよう工夫してはどうかと提案**した。



東海財務局

○ 財務状況の分析結果を**分かりやすく説明した資料を作成**・丁寧に解説。

○ 地域経済活性化支援機構が行う地域活性化ファンドや地方創生に係る国の交付金の活用をはじめとして、財政負担を抑えながら地域を活性化する方策を紹介した。

参加者の声

【西伊豆町より】
当町参加者：町の置かれている現状や強み・弱みを深く理解できた。
町　長：県内町長会議で取組を紹介予定。継続的な関係を構築したい。

【設楽町幹部より】
職員一人一人にもっと財政や地方創生のことを考えて欲しいと課題意識を持っていたが、講演会の内容は、まさにそれを代弁してくれた。

【当局参加者より】
財務状況ヒアリングが発展し、外部との連携強化に繋がったことに充実感を得た。

3. 今後の課題と東海財務局等の対応

≪東海財務局及び静岡財務事務所の今後の対応≫

○ 財務状況ヒアリングの充実による地方公共団体へのアドバイス機能の向上に取り組んでおり、今後も財政というキーワードを通じて、地方公共団体との連携を強化していきたい。